

平成 28 年度事務事業評価表(一般事業・継続)

No. 403

事務事業名	各種観光施設維持管理事業
-------	--------------

作成日	平成 28 年 9 月 30 日		
部局名	商工観光部		
課名	観光振興課		
課長名	杉野 幸夫	内線	471
担当者名	武内 拓馬	内線	277

基本目標		活力に満ちた産業のまち
政策	040402	歴史や自然を活かした観光のまちづくり
施策		観光客受入体制の整備
関連施策		

会計	一般会計		
款	7	商工費	
項	1	商工費	
目	3	観光費	
事業コード	050600	その他観光施設維持管理事業	

事業類型	6	施設維持管理(補修)事業(任意)
個別計画	観光交流都市づくり計画	
重点事業		

【PLAN(計画)】

対象(者)	観光客及び施設利用者		
誰(何)に対して事業を行うか			
意図 対象をどのような状態にしたいか	1 観光客に分かりやすい観光案内を行う。 2 施設利用者に安全で快適なサービスを提供する。		
事業概要 意図を達成するために実施することは何か	旧円融寺庭園や多良岳登山道等の維持管理を行う。 1 大村市シルバー人材センターに旧円融寺庭園の休憩所、トイレの清掃、芝管理を委託する。 2 地元団体に多良岳登山道の清掃・草刈を委託する。 3 その他施設の整備や修繕を行う。		
事業期間	年度 ~ 平成	年度	実施方法 直営、委託
根拠法令、要綱等			
国・県補助事業に係る本市単独施策	無		

【DO(実施)】

指標名(上段:名称/下段:算定式等)		単位	25年度	26年度	27年度	28年度	備考
活動指標	① 管理箇所数	計画値	23	23	23	23	
		実績値	23	23	23		
	達成度	%	100.0%	100.0%	100.0%		
成果指標	① 利用者数	計画値	40,000	40,000	40,000	40,000	円融寺、登山、海水浴、鉢巻山、裏見の滝自然花苑
		実績値	37,134	34,239	46,678		
	達成度	%	92.8%	85.6%	116.7%		
②		計画値					
		実績値					
	達成度	%					

年 度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画
① 事業費(千円)	10,391	1,775	1,503	1,582	3,317	2,578	2,578	0
国庫支出金								
県支出金								
地方債								
その他								
一般財源	10,391	1,775	1,503	1,582	3,317	2,578	2,578	
② 人件費(千円)	2,781	1,587	1,763	2,171	事業内容	事業内容	事業内容	備考
職員人数(人)	0.35	0.21	0.25	0.17	旧円融寺庭園や多良岳登山道等の維持管理、改修を行う。	旧円融寺庭園や多良岳登山道等の維持管理を行う。	旧円融寺庭園や多良岳登山道等の維持管理を行う。	
時間外勤務(時間)				5				
嘱託等人数(人)				0.50				
フルコスト(①+②千円)	13,172	3,362	3,266	3,753				

※財源内訳中の「その他」には、保険料・寄付金・基金・利用料等の収入を記入しています。

【CHECK(評価)】

事業の進捗状況 昨年度の評価から、どのような取組を しましたか(昨年度の【ACTION】 の改善・改革の進捗等)	観光施設や案内板・標識等について、老朽化及び破損状況の点検を行った。
事業が抱える問題・課題等	看板等の老朽化が進んでいる。

妥当性	【必要性】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	歴史観光立市をめざし観光誘客に取り組む中、施設利用者に安全で快適なサービスを提供するため、維持管理は必要である。						
有効性	【市の関与】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	観光客が快適に利用できるよう市が関与し、観光施設の維持管理を行うことは妥当である。						
効率性	【事業成果】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	観光施設の維持管理を行うことにより、観光客が快適に利用することができているため、事業成果はやや高い。						
効率性	【施策貢献度】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	施設利用者に安全で快適なサービスを提供することにより、歓迎の気持ちを表し、観光地のイメージアップを図ることができる。						
効率性	【コスト】	削減の余地なし		削減の余地あり		該当なし	
	(一社)大村市シルバー人材センターと地元住民に清掃を委託し、コスト削減を図っており、これ以上の削減の余地はない。						
効率性	【負担割合】	見直しの余地なし		見直しの余地あり		該当なし	
	トイレや登山道は不特定多数の利用であり、受益者負担は求められない。						

※事業類型が1～3に該当する事業については妥当性及び有効性の評価は記入していません。

【ACTION(改善・改革)】

今後の方向性	拡充
--------	----

内容 今後の方向性のもとで、どのような 取組をするか(課題や問題点等に 対する取組など)	市内外からの登山客をはじめとする利用者の利便向上を図るため、郡岳登山口トイレを改修する。 なお、観光客受入環境整備事業のWi-Fi及びアプリの維持管理の経費については、本事業に移行し統合を行う。
効果 事業の改善・改革によって期待される 効果は何か	

1 次 評 価	今後の方向性	担当者意見のとおり		2 次 評 価	対象	今後の方向性	拡充	
	終期設定				終期設定			
	意見等				内容	担当課の提案のとおり、トイレの改修を実施することを認める。 ただし、配分された予算の範囲内で実施すること。		

※1次評価は事業担当課長等、2次評価は2次評価委員会によって行われます。